



THAILAND
BOARD OF
INVESTMENT

WHY THAILAND

魅力的な投資先としてのタイ王国

アセアンの中心タイ 9つの魅力

6億2,000万人の域内人口を抱えるアセアンにあって、
その成長の牽引役となっているタイ。
古くから積極的に外資を受け入れ、
今なお有望な投資先としての魅力を発信し続けている。

タイはアセアン地域の中心に位置し、戦略的な物流拠点として重要な役割を果たしています。特に自動車及び部品産業においては既に高度なサプライチェーンを構築しております。これまでタイ政府は外国の皆様からの投資を重視し、様々な政策を打ち出してきました。引き続き投資頂けるよう環境整備に努めてまいります。

ドゥアンジャイ・アッサワジンタチット
タイ投資委員会 (BOI) 長官



ビジネス環境ランキング

ジェトロ「2017年度日本企業の海外事業展開に関するアンケート調査」(2018年3月)
注:順位は中国、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、インド、米国、メキシコ、英国の11カ国中。

1位

顧客・納入先の集積

5,000社を超える日系企業が進出し潜在的な販売先となっている。

1位

親日的な国民感情

温厚で礼儀正しい国民性で日本に対する好感度が高い。

1位

駐在員の生活環境

7万人以上の日本人が暮らし教育・食生活が充実。

2位

従業員の高定着率

従業員の離職率が低く企業文化を理解する国民性。

4位

従業員の質、優秀な人材

官民挙げて人材開発に取り組んでおり優秀な人材を輩出している。

1位

税制面での優位性

アセアン内でシンガポールに次ぐ低い法人所得税。

1位

投資奨励制度の充実

8産業分野・121業種に対し魅力的な恩典が用意されている。

2位

関連産業の集積

下請け・商社などの産業集積が完成している。

3位

インフラの充実

電力・輸送・通信が安定し工業団地の整備がされている。

VOICE

ジェトロ・バンコク事務所 三又 裕生氏 / 所長

タイには、自動車産業をはじめとする製造業を中心に、幅広い裾野産業を含む、分厚い産業集積が存在しています。この産業集積をリードしてきたのは日系企業であり、現在タイで事業を行っている日系企業は5,000社以上にのぼります。近年は、非製造業や中小企業の進出も顕著になっています。サプライチェーンが充実し、原材料等の現地調達が可能であること、日本人や日系企業向けのサービスが充実していることがタイの大きな魅力です。

タイはメコン地域の中核であり、周辺国と陸路での国境貿易が可能です。また、海のアセアンと陸のアセアンを繋ぐ要衝でもあります。タイは、アセアン諸国を視野に入れたビジネスを行う上で、「ハブ」になり得ます。更にその先には、巨

大な新興市場であるインドを中心とする南西アジアや中東、オセアニア等があります。今後、これら広範なアジア地域の統括拠点として、タイの役割は増すでしょう。

タイ政府は、産業高度化を図る国家ビジョン「タイランド4.0」や、「東部経済回廊（EEC）」構想の下、より高付加価値な産業への投資を奨励しています。航空産業、ロボットなどの新分野を含め、タイ投資委員会（BOI）による手厚い投資優遇策を用意しており、ビジネスチャンス拡大が期待されています。ジェトロは、在タイ日系企業は勿論、新たにタイに進出する日系企業の皆様も支援していきます。





日系企業の集積 FTAで堅調な輸出

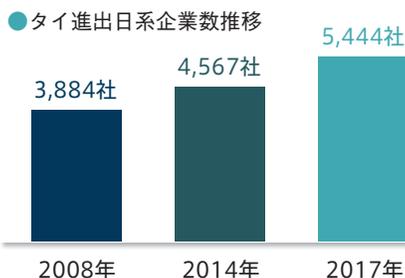
多くの分野で産業集積が進むタイ。

現地調達先の確保だけでなく、
新たな販路開拓の可能性を秘めている。

AEC（アセアン経済共同体）をはじめ、
日本を含む多くの国と結ぶ自由貿易協定により、
タイを拠点とした輸出にも期待が高まる。

日系企業による産業集積

1980年代から多くの日系企業の進出が進んでいるタイ。現在では5,000社を超える日系企業が進出しており、自動車・電気電子を中心に多くの分野で産業集積が進んでいる。進出した企業にとっては、現地での部品調達や加工委託先の確保が容易となるだけでなく、潜在的な販売先としても期待できる。



出所：ジェトロ・バンコク「日系企業進出動向調査（2017年）」

FTAが後押しする堅調な輸出

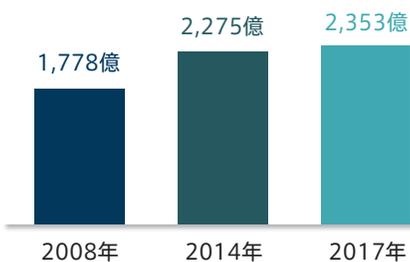
●タイのFTA発効状況と輸出構成比

FTA	輸出構成比(%)
アセアン(AEC)	25.2
日本(アセアン、二国間)	9.4
中国(アセアン)	12.4
韓国(アセアン)	2.0
インド(アセアン)	2.7
豪州(アセアン、二国間)	4.4
ニュージーランド(アセアン、二国間)	0.7
ペルー(二国間)	0.1
チリ(二国間)	0.3
合計	56.9
RCEP	56.9

発効済み
交渉中

出所：Department of Trade Negotiations、タイ商務省

●タイの輸出額推移(USドル)



出所：タイ中央銀行



VOICE



Thai Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. 湯浅 真祐氏 / President

親日国で比較的治安がよく、生活が便利なタイは、外国であることをあまり意識せずに進出できる国です。集積が進んだ日系企業は包装資材や加工技術等も優れているため、周辺国に比べて現地で完結出来る

工程が多いと感じます。AECの発効に伴い各国で役割分担をしていく中で、タイがインドシナを中心になるのは間違いありません。潜在成長率の高い周辺国への輸出は事業拡大に欠かせず、将来的に進出する際の足掛かりになるでしょう。BOIの手厚い恩典を活用することで、投資回収を早めることも可能です。



定着率が高く 熟練人材育成に注力

親日的で敬虔な仏教徒が多いタイでは、
日本との文化的な衝突は少なく、従業員の定着率も高い。
日本企業向けの熟練人材の専門教育機関があり、
政府による人材育成のプラットフォームも充実しています。

日系企業向け高スキル人材の育成

2007年に開校した泰日工業大学（TNI）をかわきりに、日本のものづくりに直結する技術と知識を兼ね備えた人材の育成が進んでいます。2015年に自動車人材育成学院（AHRDA）が、2018年には高専機構によるタイ高専コースが開講し、高スキル人材を輩出しています。



泰日工業大学（TNI）のキャンパス

政府の人材育成プログラム

タレントモビリティ Talent Mobility (TM)	公的機関と民間の共同研究のマッチングサービスの提供
職業統合学習 Work Integrated Learning (WiL)	官民パートナーシップによる教育機関と民間セクター間の共同教育サービスの提供
デュアル職業訓練 Dual Vocational Training (DVT)	学生が実務経験を得るための効率的なカリキュラム、訓練、試験評価方法を作るための職業教育機関による民間企業との協定
共同教育（大学・専門学校卒業生向け） Co-operative Education (CoE)	学校教育と職業実務経験を組み合わせた構造的な手法、実務経験に対する学科の履修単位の付与

出所：National Science Technology and Innovation Policy Office (STI), Office of the Vocational Education Commission (OVEC), Office of the Higher Education Commission (OHEC)

世界人材ランキング（63ヶ国との比較）



出所："World Talent Report 2018", IMD

VOICE

泰日工業大学（Thai-Nichi Institute of Technology） バンディット・ローツアラヤノン氏 / 学長



タイは日本企業にとって非常に入りやすい社会で、多くの日系企業が進出しています。本学は企業と協力しカリキュラムを作成・実施するなど、「現場で即戦力となる人材」を育成することを目指しています。現在まで約5,600名の人材を社会に輩出しており、そのうちの約半数が、工学部にいたっては約6割が、日本

企業に就職しています。全ての学部で英語と日本語を必須科目にしていることや、「ホウレンソウ」「カイゼン」などの用語を理解していることも、日本企業からの求人が多い理由でしょう。





整った工業団地 インフラ再整備も進む

80年代から多くの日系企業が進出し、
工業団地の整備はアセアン域内でも群を抜きます。
EEC（東部経済回廊）プロジェクトによる新たなインフラ整備も
進んでおり、更なる発展が期待できます。

日系企業の信頼を得る工業団地

タイには約80の工業団地が存在し、中でも東部のラヨン県、チョンブリ県、チャチェンサオ県、中部のアユタヤ県に多くの工業団地が集中しています。日系企業が多く立地する工業団地としては、アマタシティ、WHA、ピントン、ロジアナ等が挙げられます。



出所：Amata Corporation PCL., Pinthong Industrial Park PCL.

主要港は東部工業団地に隣接

タイの8つの深海港のうち、主なものはレムチャバン港、クロントイ港、マプタブット港、ソクラー港です。中でも、レムチャバン港は東部工業団地に近く、2017年のコンテナ取扱量は767万TEU。タイの貿易港として中心的な役割を果たしています。

●レムチャバン港

総敷地面積	2,572エーカー
コンテナターミナル	7カ所
多目的ターミナル	1カ所
Ro-Roターミナル、旅客/Ro-Roターミナル	各1カ所
雑貨ターミナル	1カ所
シッパードターミナル	1カ所

出所：Port Authority of Thailand

EEC で更なるインフラ整備が始動

タイ政府が進めるEEC（東部経済回廊）プロジェクトでは、新たなインフラ整備計画がスタートしています。バンコクと東部を

繋ぐ高速鉄道や港湾・空港の拡張整備が進められており、2025年までに完成する予定です。

高速鉄道

ドンムアン空港～スワンナブーム空港～ウタバオ空港を結ぶ高速鉄道の開発。

ウタバオ国際空港

新滑走路と旅客ターミナル及び商業施設の増設。旅客収容能力を15年間で2,200万人に引き上げ。

レムチャバン港

コンテナ取扱量を年1,800万TEUへ、自動車輸出力を年300万台へ拡大。
注) TEU：20フィートコンテナ換算

VOICE

Nachi Technology (Thailand) Co., Ltd.

寶島 章氏 / Vice President

自動車産業を筆頭に進出企業数が多く、ピラミッド型の企業間関係が構築されています。集中して配置された工業団地のインフラは整備が進んでおり、安定した生産活動を行うことができます。工業団地間や、工業団地から港・空港・市内への道路も整備されています。空港は東南アジアのハブとして利便性が高く、

インターネットなどの通信環境も整っています。電力の安定供給と併せて、タイは企業活動を進めやすい環境と言えるでしょう。EEC（東部経済回廊）では、様々な開発が進むと期待されています。インフラ整備にとどまらず、魅力的な「新しい街」の創出ができれば、更に企業や人が集まるでしょう。



日本人が多く 暮らしやすい環境

7万人以上の在留邦人が暮らすタイ。

生活、教育、食など、多くの分野で日本人向けサービスが充実している。

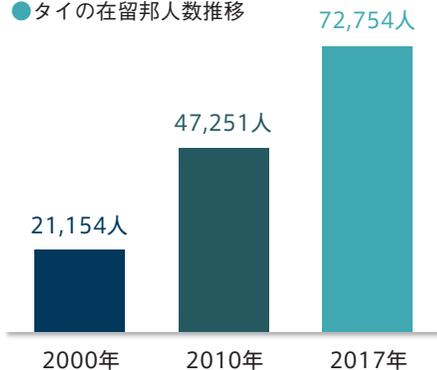
親日的で礼儀正しいタイ人、整備された交通インフラ、

海外生活を送るに最適の環境が整っています。

東南アジア最大の日本人コミュニティ

タイは世界で4番目に在留邦人が多い国です。東南アジアでは2位のシンガポール（約3.6万人）の2倍にあたる約7.2万人が居住しています。

●タイの在留邦人数推移



出所：外務省「海外在留邦人数調査統計（2017年）」

在留邦人数

約**7.3**万人

在留邦人数
ランキング

世界**4**位
東南アジア1位

出所：外務省「海外在留邦人数調査統計（2017年）」

日本食が充実

日本食レストランは国内3,000店、内バンコクに約1,700店です。日系のスーパーでは日本と遜色無い品揃えです。

日本食
レストラン

約**3,000**店

出所：ジェトロ「2018年度タイ
国日本食レストラン店舗数調査」

安心の教育環境

日本人学校はバンコクとシラチャの2校体制で、約3,100人の生徒が学んでいます。また、インター校も充実しています。

日本人学校
生徒数

約**3,100**人
(2018年4月)

インター校

約**120**校

BOIによる 各種恩典制度

タイは産業高度化につながる事業に対し投資奨励制度を設けており、多くの日系企業もこの制度の恩典を受けています。

政府が考える優先度・重要度が高い事業をはじめ、

国や産業発展に貢献する事業には、最大限の恩典優遇が与えられます。

多岐にわたる BOI の対象業種

BOIの投資奨励恩典に申請できる事業活動には、8つ産業分野・121業種があり、将来さらなる増加が見込まれています。

8

産業分野

121

業種

事業分野	対象業種数
農業および農作物	22
鉱業、セラミックス、基礎金属	17
軽工業	11
金属製品、機械、運輸機器	18
電子・電気機械産業	9
化学、紙、プラスチック	17
サービスおよび公共施設	26
技術・イノベーション開発	1
合計	121

BOI の充実した恩典制度

BOIの投資奨励恩典は基本恩典として「業種に基づく恩典」と「技術に基づく恩典」があり、追加恩典として「メリットに基づく恩典」、「立地に基づく恩典」、「アジェンダに基づく恩典」などがあります。

法人所得税
100%免除

最長13年

外資の
土地所有
可能

税恩典

- ・最長13年間の法人所得税免除
- ・5年間の法人所得税50%免除(特定地域への投資)
- ・機械類に対する輸入関税免除
- ・輸出处の生産品用の原材料および必要資材の輸入関税の免除
- ・研究開発用の原材料および必要資材の輸入関税の免除

税以外の恩典

- ・外国資本100%
- ・土地の所有
- ・技術者および専門家の入国の許可



■ **Office of The Board of Investment**

555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak, Bangkok 10900
TEL : +66 (0) 2553-8111 FAX : +66 (0) 2553-8315
ウェブサイト : www.boi.go.th
Email : head@boi.go.th

■ **One Stop Service Center for Visas and Work Permits**

18th Floor, Chamchuri Square Building, 319 Phayathai
Road, Pathumwan, Bangkok 10330
TEL : +66 (0) 2209-1100 FAX : +66 (0) 2209-1194
Email : visawork@boi.go.th

■ **One Start One Stop Investment Center (OSOS)**

18th Floor, Chamchuri Square Building, 319 Phayathai
Road, Pathumwan, Bangkok 10330
TEL : +66 (0) 2209-1100 FAX : +66 (0) 2209-1199
ウェブサイト : osos.boi.go.th
Email : osos@boi.go.th

■ **タイ BOI 東京事務所**

東京都港区赤坂 2-11-3 福田ビルウエスト8階
TEL : 03-3582-1806

■ **タイ BOI 大阪事務所**

大阪府大阪市中央区久太郎町 1-9-16 バンコク銀行ビル 7F
TEL : 06-6271-1395